

備後教区報

第 145 号

新体制がスタート

CONTENTS

◇挨拶

- ・教務所長
- ・教区会議長
- ・組長会長

◇新役員の紹介

◇視点—フェイスブックで接続 され共有される宗教

◇NEWS & 活動情報

◇予報・インフォメーション



親鸞聖人750回大遠忌法要は平成24年1月16日、本山での正当の大遠忌法要をもつてご満座となった。この法要の位置づけの一つは、混迷する現代社会の中で念仏者の歩むべき方向性を模索するための「新たな始まり」でもある。事業を進める新体制がスタートした。

着任のご挨拶

備後教区教務所長
本願寺備後教堂主管

きくち しゅうじょう
菊池 宗城



このたび、前宮川宏生教務所長に引継ぎ、4月1日付にて、備後教区教務所長並びに本願寺備後教堂主管を拝命いたしました。

前任の石川教区教務所長、金沢別院輪番として3年間お世話になり、このたびのご縁を頂きました。北陸で得た貴重な経験を活かしつつ、風土の違いを乗り越え皆さま方と共に一層ご法義の繁盛に努めてまいりたいと思います。何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますよう

新体制スタート

う、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度ご修行されました「親鸞聖人750回大遠忌法要」には、多くの皆さま方にご参拝賜り、共々にご勝縁を喜ばせて頂きました。ご門主さまは、親鸞聖人750回大遠忌法要ご満座のご消息の中に「ご法儀を伝え、広めるための宗門の組織も、社会の変化に応じて変わる必要があります」とお示し下さいました。それを踏まえて、本年4月1日に、宗門の将来を期し、浄土真宗をより社会に伝え広めるための組織改革がなされ、宗派と本願寺は新たな始まりをスタートいたしました。教区としてもよき伝統は継承しつつ、改革の推進に向けて、それぞれの地域にあった方法で、備後は備後としていかに次世代の方々にお念仏を伝えるか。皆さまのお知恵を

お借りしながら、進めてまいりたいと存じます。

合 掌

就任のご挨拶

教区会議長

奥組 浄福寺住職

やました ぎえん
山下 義円



先般開催されました臨時教区会において、議長に再選されました。

本年4月1日に宗本区分がなされました。今後、本山と宗派が切磋琢磨しながらご法義を広めていくこととなります。この時に教区会議長に就任させていただくこととなりました。微力ながら、教区内寺院、門信徒皆様方の協力を得ながら教区運営を進めさせていただきます。

尚、2010年3月5日、6日の両日、広島にて親鸞聖人750回大遠忌法要中国ブロック大遠忌記念事業として公演された創作

劇「善人なおもて往生をとぐ」親鸞 わが心のアジャセ」を、好評につき9月6日に福山リーデントローズで再演します。一人でも多くの方々に「観無量寿経」の味わいの一端を見ていただきたく、1600名の参加を予定致しています。どうか、お誘い合わせの上、参加下さいますようお願い申し上げます。

合 掌

組長会長

比婆組 円光寺住職

とようら じゅんかい
豊浦 順海



教区内の皆さまには慈光照護のもとお念仏相続のことと存じます。

この度、組長会会長に就任いたしましたこととなりました。今春までの5年間は比婆組の組長として、ほとんどの期間を大遠忌の団参と組内の記念行事の企画実行に取り組

み、多忙の中にもまことに有難いご縁でありました。

本年度からは、ご門主様のお言葉の通り、時代と地域に応じた新たな歩みを進める任期となります。特に宗門の宗派・本願寺の組織が大きく変革しました。この変革が定着するには相当の期間がかかるものと思われます。これらのことも含め、教区・組・末寺の円滑な活動をお手伝いするのが我々の任務と存じます。

皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

合掌

新役員紹介

教区会

教区会議長

奥組 浄福寺 山下義円

教区会副議長

三次組 浄念寺 安藤勝章

僧侶議員

備中里組 大圓寺 奥村昭道

中組 融玄寺 園井孝顕

奥組 浄福寺 山下義円

深津組 正善寺 藤井行夫

鴨川組 正福寺 渡邊見眞

鴨川北組 宝泉寺 佐藤秀円
沼隈西組 法蔵坊 藤原一生
沼隈南組 福泉坊 高山秀基
芦田組 西圓寺 山名淳晃
神石組 泉正寺 柏原隆祥
三谿組 照善坊 福岡真也
比婆組 西念寺 栗原尚道
三次組 覺善寺 常光 and 信
御調東組 正典坊 近安徹祐
御調西組 順勝寺 田坂潤
世羅組 正満寺 島津恵心
門徒議員

備中里組 浄心寺 石井敏克

中組 徳善寺 岩井耕一

奥組 永寶寺 山崎時夫

深津組 誓蓮寺 藤井春勝

鴨川組 浄光寺 小林茂美

鴨川北組 円福寺 児玉辨二

沼隈西組 万福寺 寺岡清治

沼隈南組 南禅坊 野草英臣

芦田組 明浄寺 錦織徹也

神石組 泉正寺 福井貴文

三谿組 立泉寺 山口末夫

比婆組 西念寺 片山孝昭

三次組 浄念寺 安藤勝章

御調東組 大通寺 助永一男

御調西組 龍見寺 首藤武昭

世羅組 正満寺 新谷隆之

常備会

奥組 浄福寺 山下義円

組長会

組長会長

比婆組 円光寺 豊浦順海

組長会副会長

御調西組 法泉寺 小島照行

組長

備中里組 浄心寺 津田雅行

中組 徳善寺 後谷唯史

奥組 大宝寺 真淵公大

深津組 光善寺 苅谷友之

鴨川組 泉龍寺 坂田秀磨

鴨川北組 真光寺 古孝隆範

沼隈西組 西明寺 赤柴証悟

沼隈南組 南泉坊 岡部正顕

芦田組 明浄寺 立神義昭

神石組 光福寺 佐武晃正

三谿組 専教寺 鎌倉行雄

副組長

備中里組 報恩寺 高浦寛爾

中組 蓮通寺 三宅法顕

奥組 西福寺 野口弘章

奥組 増福寺 藤本直樹

深津組 正福寺 広田光宣

深津組 専明寺 原田顕照

鴨川組 靈巖寺 龍華直

鴨川北組 勝願寺 足利義信

沼隈西組 福照坊 菅田裕一

沼隈西組 万福寺 河村祐昭

沼隈南組 正蔵坊 藤原一真

沼隈南組 寶福寺 延広正行

沼隈南組 善正寺 那須英信

芦田組 西福寺 山名孝彰

芦田組 西教寺 長専修

神石組 教西寺 馬屋原晃准

三谿組 明覚寺 不二川公哉

三谿組 善徳寺 長谷川憲章

比婆組 西楽寺 定光大燈

比婆組 妙延寺 尾野義宗

三次組 専正寺 深水顕真

三次組 西福寺 常光香誓

比婆組 円光寺 豊浦順海

三次組 西善寺 小武正教

御調東組 金剛寺 金岡親量

御調西組 法泉寺 小島照行

世羅組 真行寺 是山宗憲

護持口数調整委員会

三次組	御調東組	御調東組	御調西組	世羅組	奥組	備中里組	中組	奥組	深津組	鴨川組	鴨川北組
浄円寺	福善寺	最円寺	浄念寺	善仁寺	浄福寺	浄心寺	徳善寺	大寶寺	光善寺	泉龍寺	真光寺
足利法昭	大田垣聖圓	三浦義純	林順三	原英順	山下義円	津田雅行	後谷唯史	真淵公大	苅谷友之	坂田秀磨	古孝隆範

教区賦課基準等調整委員会

沼隈西組	沼隈南組	芦田組	神石組	三谿組	比婆組	三次組	御調東組	御調西組	世羅組	奥組	沼隈西組	沼隈南組	芦田組	神石組	三谿組	比婆組	三次組	御調東組	御調西組	世羅組	奥組	備中里組	中組	奥組	深津組	鴨川組	鴨川北組	沼隈西組	沼隈南組	南泉坊
万福寺	南禅坊	明浄寺	泉正寺	立泉寺	西念寺	浄念寺	大通寺	順勝寺	正満寺	浄福寺	法蔵坊	西圓寺	泉正寺	覚善寺	順勝寺	誓蓮寺	立泉寺	大通寺	浄心寺	大通寺	浄心寺	徳善寺	大寶寺	光善寺	泉龍寺	真光寺	西明寺	南泉坊	赤柴証悟	岡部正顕
寺岡清治	野草英臣	錦織徹也	福井貴文	山口末夫	片山孝昭	安藤勝章	助永一男	新谷隆之	山下義円	藤原一生	山名淳晃	柏原隆祥	常光	石井敏克	藤井春勝	山口末夫	助永一男	津田雅行	後谷唯史	真淵公大	苅谷友之	坂田秀磨	古孝隆範	赤柴証悟	岡部正顕	赤柴証悟	岡部正顕	赤柴証悟	岡部正顕	赤柴証悟

災害対策委員会

比婆組	鴨川北組	備中里組	世羅組	深津組	奥組	災害対策委員会										世羅組	御調東組	三次組	比婆組	三谿組	比婆組	三谿組	神石組	芦田組												
円光寺	真光寺	浄心寺	正満寺	正善寺	浄福寺											光源坊	正典坊	照林坊	西楽寺	法専寺	徳円寺	光照寺	福照坊	照専寺	正福寺	正善寺	融玄寺	大圓寺	真行寺	法泉寺	金剛寺	西善寺	円光寺	専教寺	光福寺	明浄寺
豊浦順海	古孝隆範	津田雅行	島津恵心	藤井行夫	山下義円											真教寺月扇	近安徹祐	明山晃映	定光大燈	加藤哲真	田坂健爾	季平	岡部徳雄	佐々木至成	渡邊見眞	藤井行夫	大塚泰玄	奥村昭道	是山宗憲	小島照行	金岡親量	小武正教	豊浦順海	鎌倉行雄	佐武晃正	立神義昭

寺院振興対策委員会

副委員長

委員

法要委員会

御調西組	三次組	比婆組	御調西組	奥組	備中里組	中組	奥組	深津組	鴨川組	鴨川北組	沼隈西組	沼隈南組	芦田組	神石組	三谿組	比婆組	三次組	御調東組	御調西組	世羅組	奥組	備中里組	中組	奥組	深津組	鴨川組	鴨川北組	芦田組
法泉寺	福泉坊	円光寺	法泉寺	浄福寺	浄心寺	徳善寺	大寶寺	光善寺	泉龍寺	真光寺	西明寺	南泉坊	明浄寺	光福寺	専教寺	明浄寺	西明寺	金剛寺	法泉寺	眞行寺	眞行寺	眞行寺	眞行寺	眞行寺	眞行寺	眞行寺	眞行寺	眞行寺
小島照行	安藤勝章	豊浦順海	小島照行	山下義円	津田雅行	後谷唯史	真淵公大	苅谷友之	坂田秀磨	古孝隆範	赤柴証悟	岡部正顕	立神義昭	佐武晃正	鎌倉行雄	豊浦順海	小武正教	金岡親量	小島照行	是山宗憲	山下義円	藤原一生	山名淳晃	山名淳晃	山名淳晃	山名淳晃	山名淳晃	山名淳晃

組勤式推進員

神石組	泉正寺	柏原隆祥
三次組	覚善寺	常光 and 信
御調西組	順勝寺	田坂 潤
備中里組	蓮乗寺	田井智彦
中 組	蓮通寺	三宅信行
奥 組	浄福寺	山下瑞円
深津組	専光寺	藤井明德
鴨川組	正覚寺	竹政信至

鴨川北組	照專寺	佐々木弘海
沼隈西組	福照坊	岡部哲應
沼隈南組	法輪寺	足利法水
芦田組	妙泉寺	矢追貴祥
神石組	正光寺	和泉裕生
三谿組	善徳寺	長谷川憲章
比婆組	光縁寺	渡辺真雄
三次組	照林坊	明山晃映
御調東組	大通寺	大淵英範
御調西組	正明寺	沼隈 純

同宗連専門委員

世羅組	明善寺	長岡宗道
備中里組	專教寺	佐々木龍生
中 組	徳善寺	後谷唯史
奥 組	教蓮寺	那須照嗣
深津組	専明寺	原田顕照
鴨川組	福泉坊	季平恵海
鴨川北組	光明寺	吉岡隆義
沼隈西組	光満寺	赤柴宏丞

ご挨拶

築地本願寺宗務長

不二川 公勝

教区寺院、団体、門信徒の皆さまには、ご清祥にてお過ごしのことと存じ上げます。

私は約2年ほど、東京は本願寺築地別院輪番の職にありましたが、この4月より直属寺院でありました本願寺築地別院が、直轄寺院「築地本願寺」となり、去る4月24日、その築地本願寺宗務長（初代）の任を拝命いたしました。また同時に、法規上の定めにより宗会議員の職を辞することとなりました。ここで、在任中の18年、皆さま方からのご指導、ご支援に厚く御礼申し上げます。

宗門ではここ2年間、宗会での議論を中心に、宗門の憲法にあたる「宗法」の改正、宗派（浄土真宗本願寺派）と本山（本願寺）の運営体制の見直し、首都圏伝道の強化など、法規と組織の改変

を話し合っていました。そして、いよいよこの4月より、時代環境や社会環境の変化に対応した体制の構築、迅速かつ実効性を有する施策の展開を目指し、新機構のもと宗門が新たな歩みを始めました。

不安や困難が少なくない時代、人々が生き生きと生きていくための力を与えてくれるのが宗教でありましょう。このような時代に、伝統を継承しつつ、我々の教義を広く伝えていくための変革であります。私は、引き続き関東の地で、首都圏伝道の強化を目指し、築地本願寺宗務長の責務を果たしてまいりたいと思います。教区、寺院、僧侶、門信徒の皆さまには、宗門、本山、寺院の更なる護持発展のためご精励いただきたく存じます。皆さまの活動が心の拠りどころを求める人々にとって、さらに心強いものとなることでありましょう。

何卒、種々ご理解いただき、引き続き変わらぬご鞭撻、ご教導を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

同朋三者懇話会専門委員会

沼隈南組	福泉坊	高山秀基
芦田組	光明寺	千葉隆誓
神石組	正善寺	熊原得也
三谿組	法専寺	加藤哲真
比婆組	西念寺	栗原尚道
三次組	西善寺	小武正教
御調東組	光林寺	箱田正文
御調西組	西王寺	西王地教清
世羅組	光源坊	真教寺春窓
世羅組	光永寺	毛利慶典

備中里組	浄心寺	津田明雅
中 組	光栄寺	佐藤彰雄
奥 組	泉瀧寺	大塚裕玄
深津組	真福寺	福岡恵真
鴨川組	福泉坊	季平恵海
鴨川北組	照專寺	佐々木至成
鴨川北組	宝泉寺	佐藤秀円
沼隈西組	光満寺	赤柴宏丞
沼隈南組	福泉坊	高山秀基
芦田組	光秀寺	武田哲也
神石組	正善寺	熊原得也
三谿組	光澤寺	澤井隆三
比婆組	西念寺	栗原尚道
三次組	西善寺	小武正教
三次組	東光坊	坂原英見
御調東組	光林寺	箱田正文
御調西組	西王寺	西王地教清
世羅組	光永寺	毛利慶典

門徒推進員世話人会

代表

沼隈西組 浄泉坊 桜田淑子

副代表

芦田組 徳円寺 下間一弘

比婆組 西念寺 中山忠昭

會計

備中里組 正専寺 田口竹子

監査

御調西組 梅林寺 盛田由美子

世羅組 正満寺 平田淳治

世話人

中組 香積寺 河本光行

奥組 浄福寺 西家昭二

鴨川組 正覚寺 井上克信

神石組 泉正寺 小林元治

三谿組 立泉寺 山口末夫

三次組 西善寺 岩崎照行

御調東組 法光寺 竹林寿美子

門徒総代会世話人会

代表

御調東組 正典坊 河原幸造

副代表

奥組 善教寺 河上 勲

世話人

備中里組 浄心寺 石井敏克

中組 徳善寺 岩井耕一

深津組 誓蓮寺 藤井春勝

鴨川組 泉龍寺 吉岡卓志

鴨川北組 泉蔵坊 松川隆治

沼隈西組 万福寺 寺岡清治

沼隈南組 南泉坊 高田靖正

芦田組 明浄寺 錦織徹也

神石組 光徳寺 江村良治

三谿組 正覚寺 今井正治

比婆組 禅仏寺 寺岡政徳

三次組 真光寺 三吉献二

御調西組 龍見寺 首藤武昭

世羅組 光源坊 西原義典

仏教婦人会連盟

委員長

鴨川北組 照専寺 三島当子

評議員・副委員長

世羅組 法泉坊 宮丸こずえ

副委員長

沼隈南組 善正寺 柿木美紀枝

三次組 安養寺 上岡康子

御調東組 円龍寺 小吹茂子

幹事

奥組 泉瀧寺 平野恒代

深津組 光蓮寺 渡辺 操

比婆組 西林坊 阿舍利やすこ

書記

神石組 泉正寺 福井静香

會計

芦田組 光秀寺 貝原波子

御調西組 梅林寺 盛田由美子

備中里組 浄心寺 藤井愛子

三谿組 照善坊 池上真澄

委員

沼隈西組 常泉寺 佐藤泰子

仏教壮年会連盟

理事長・評議員

深津組 正福寺 石井輝美

副理事長

芦田組 光明寺 土井正明

御調東組 光林寺 元廣清志

監査

比婆組 西樂寺 千代丸一明

御調西組 法泉寺 菜原繁一

理事

深津組 崇興寺 深田 篤

神石組 泉正寺 馬屋原隆幸

三谿組 立泉寺 山口末夫

比婆組 西念寺 秋山 保

三次組 法正寺 塩田博惟

三次組 東光坊 坂根弘視

御調東組 大通寺 甲田正規

世羅組 善行寺 豊田哲夫

仏教青年会連盟

委員長

未定

中央委員

三谿組 善徳寺 竹下和宏

保育連盟

委員長

鴨川組 勝願寺 足利義信

副委員長

御調西組 善教寺 小島信章

幹事

神石組 正善寺 熊原得也

監査

沼隈南組 南光坊 季平芳道

三次組 覚善寺 常光和信

布教団

副団長

奥組 浄福寺 山下義円

沼隈南組 善正寺 那須英信

比婆組 西教寺 藤井義英

委員

備中里組 蓮乗寺 田井智彦

深津組 光円寺 平山智正

深津組 光栄寺 平山義文

鴨川北組 円福寺 三條義見

沼隈南組 光源寺 北山祐章

沼隈南組 南泉坊 岡部正顕

芦田組 善行寺 堤 有年

神石組 法泉寺 川上順之

三次組 源光寺 福間玄猷

御調東組 法光寺 季平博昭

ビハーラ備後																			
会長																			
沼隈西組 浄泉坊 桜田淑子																			
副会長																			
奥組 泉瀧寺 大塚貴和子																			
沼隈南組 光林寺 天地喜美子																			
神石組 光徳寺 江村カツミ																			
世羅組 善行寺 真澄慎一																			
書記																			
備中里組 正専寺 田口竹子																			
中組 香積寺 福島千恵子																			
監査																			
御調東組 法光寺 竹林寿美子																			
御調西組 梅林寺 盛田由美子																			
少年教化サポーター																			
備中里組 高運寺 塩田由成																			
備中里組 地福寺 高橋 慧																			
中組 光栄寺 佐藤知水																			
中組 徳善寺 後谷唯史																			
奥組 増福寺 藤本直樹																			
奥組 光傳寺 金藤恵幸																			
深津組 崇興寺 枝廣慶樹																			
深津組 正善寺 藤井教証																			
鴨川組 勝願寺 足利義信																			

少年教化サポーター

ビハークラ備後

★教堂参与会入会についてのお願ひ
各寺院より1名以上の教堂参与をお願ひいたしてあります。備後教区の拠点となる聞法道場の護持発展に何卒ご協力程よろしくお願ひ申し上げます。申込み詳細については教務所までご連絡下さい。

鴨川組	鴨川北組	鴨川北組	沼隈西組	沼隈西組	沼隈南組	沼隈南組	芦田組	芦田組	神石組	神石組	三谿組	三谿組	比婆組	比婆組	三次組	三次組	御調東組	御調東組	御調西組	御調西組	世羅組	世羅組
福泉寺	正明寺	宝泉寺	最明坊	大東坊	南禅坊	西光寺	妙泉寺	慶照寺	金蔵寺	法泉寺	善徳寺	立泉寺	未定	未定	源光寺	西覚寺	円龍寺	青松寺	善教寺	法泉寺	光源坊	法泉坊
児玉隆志	渡辺浩之	佐藤秀信	日根明俊	那須智雄	高階百壽	箱田義信	箱田晃哲	田坂英尊	杉原秀晃	川上順之	長谷川憲章	一條照代			福間玄猷	伊川大慶	池上走珠	中野篤史	小島信章	小島芳照	毛利令就	真教寺春窓

【職員職務分掌】平成24年度からの新体制

菊池宗城		教務所長・教堂主管			
担当者	教区関係	各種団体		教堂関係	
賛 事	村上恒河	《教区総務》	《平和のつどい》	《布教団》	《常例・法要》
		《庶務・願記》	《同朋講座》	《寺族婦人会連盟》	《参与会》
			《環境・自死・憲法》	《保育連盟》	
			《保護司・民生・児童委員》	《仏教壮年会連盟》	
			《FM専門委員会》	《スカウト指導者会》	
				《講 社》	
主 事	法正映真	《教区会計》	《同宗連》	《矯正教化連盟》	《教堂総務》
		《教区会》	《同朋三者懇話会》	《連研・門徒推進員》	《教堂営繕》
		《組長会》	《僧侶研修会》	《門徒総代会》	《旧新見教堂》
		《宗会選挙》	《災害対策委員会》	《社推協》	
		《護持口関係》	《大遠忌法要（アジャセ）》		
		《賦課基準》	《寺院振興対策》		
録 事	藤井晃宣	《備品管理》	《法式法務専門委員会》	《少年連盟》	《教堂会計》
		《書 籍》	《IT専門委員会》	《仏教青年連盟》	《責役総代会》
		《せんべい》	《教区報専門委員会》	《仏教婦人会連盟》	
			《キッズサンガ》	《ビハークラ備後》	
				《寺族青年》	
				《寺院子弟》	
教区勤式指導所		内 容			
《勤式指導員》藤田徹信		定期練習会、前期・後期研修会、その他講習会、出張勤式練習会			

2011(平成23)年度まで宗門において進められてまいりました「基幹運動」は、今年度より名称を「御同朋の社会をめざす運動」としてこれからも更なる運動を展開していきます。

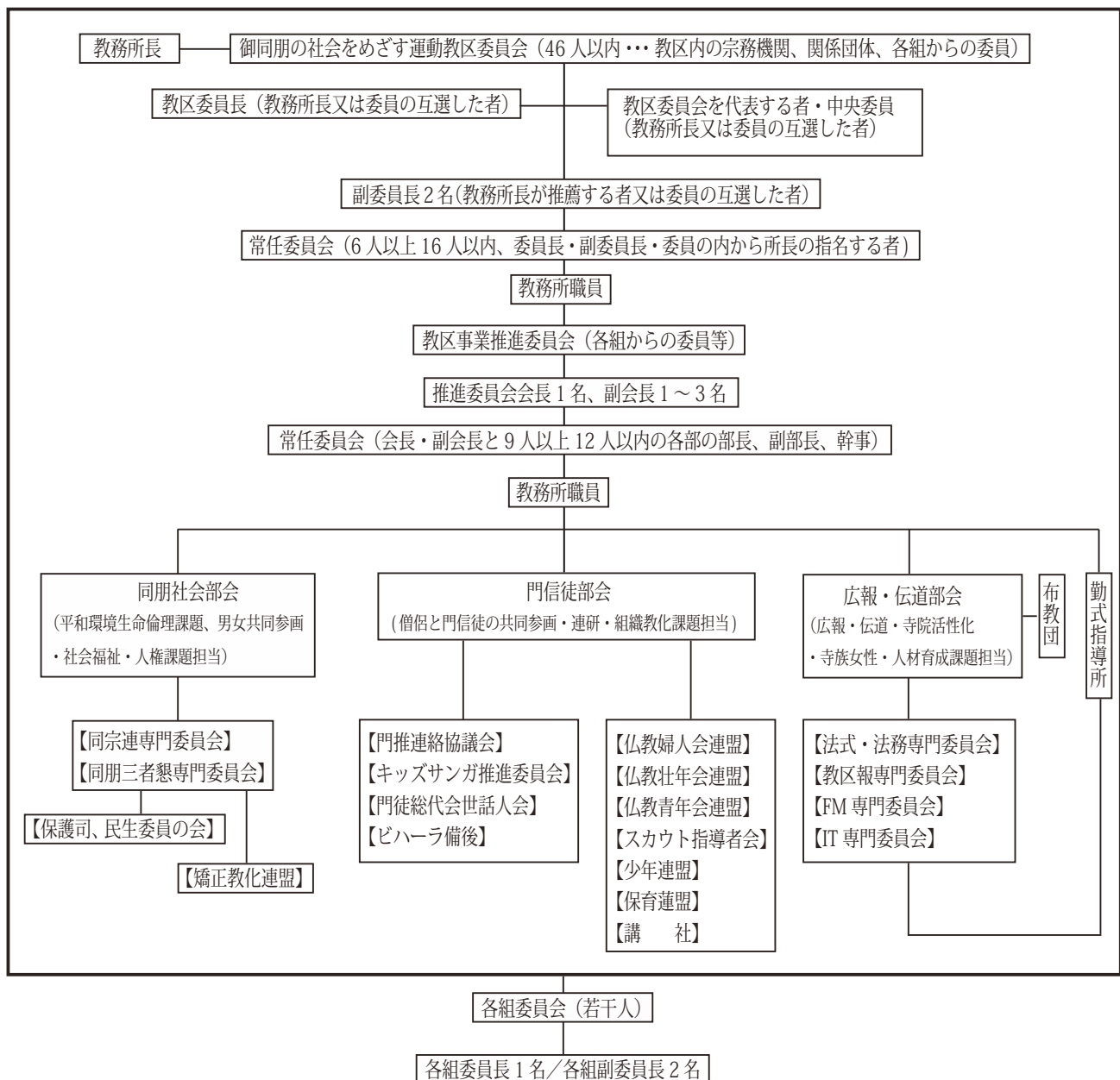
「御同朋の社会をめざす運動」はこれまで「基幹運動」の名称にて行ってきた事業を継承し、新たな総合基本計画に基づき様々な事業を行っていきます。

そのため、教区内すべての僧侶、門信徒の方々に協力を頂いて、教区に新たな委員会を「御同朋の社会をめざす運動教区委員会」と「教区事業推進委員会」を立ち上げます。

今後は、教区内すべての僧侶、門信徒の方々に協力を頂きながら「御同朋の社会をめざす運動」を推進してまいりたいと考えております。

＜「御同朋の社会をめざす運動」組織図表＞（イメージ図）

中央委員会 50 人以内（宗務機関・宗門関係団体・教区委員会代表）



視点

フェイスブックで接続され共有される宗教

三次組 専正寺副住職

深水 顕真

全世界で9億人が利用し、日本国内においても1500万人がそのアカウントを持っているフェイスブック。本論では、インターネットを介した情報交換サービスとして現在最も注目されているこのフェイスブックに関して、なにが起ころうとしているのかを概括し、宗教者としてその変化にどのように取り組むべきかを考えます。

フェイスブックの危険性

ハーバード大学の学生であったマーク・ザッカーバーグが、学生名鑑として創設したフェイスブックの特徴は、実名で登録された情報が「接続(connect)と共有(share)」されることにあります。利用者個人のプロフィールや日記、掲載した写真、そして気に入ったインターネット上の情報などが、登録された「友達」に対して発信され共有されます。この登録された「友達」とは、現実での友人・知人の場合もあれば、友人の友人として現実にはまったく知己のない人も含まれます。フェイスブック

クを利用することによって、様々な種類の「友達」と接続され、その人たちと経験を共有することができます。

しかしこの実名情報の「接続と共有」によって、本人の意図しない情報が共有される問題が生じてしまいます。2009年には英国政府秘密情報局の次期責任者の妻のフェイスブックに、家族写真や住所が掲載され共有されていることが問題になりました。さらにカナダにおいては、本人のプライバシーをふざけた写真が、友人によって掲載共有されたことにより選挙への出馬を取り消した例も紹介されています。(カートパト

リック297頁)

いうまでもなく私たちは人間としてさまざまな側面を持っています。家庭人として、職業人として、そして男性・女性として。これまでは自らがこうした側面を状況に応じて使い分けてきました。しかし、インターネットの発達と実名登録のフェイスブックの驚異的な浸潤によって、「避けられない透明性が現代社会を包み込む」(カートパトリック291頁)状況となつていきます。特に注意すべき点は、妻のフェイスブックから秘密情報が漏えいした英国の事例のように、インターネットを利用しない人も実名情報によって容易に接続されうることです。

フェイスブックが目指すもの

ザッカーバーグはフェイスブックによって現実を充実させることを目指しました。それゆえ、従来のインターネットサービスとは違い実名や現実のプロフィール登録が求められます。これによって現実の友人・知人と簡単にフェイスブック上でも「友達」として接続することができ、情報を共有することができるようになります。

そして、その結果は現実生活へとフィードバックされます。これまでの匿名を基本とするインターネットサービスでは、あるアイドルのファンコミュニティが出来上がったとしても、それはインターネット上のみのものでした。しかし、実名によるフェイスブックでは、そのコミュニティを現実世界に反映させ、集会やイベントを開催することも容易となります。

寺院活動においても、この現実との相互関係が有効に機能している場合もあります。例えば、2012年6月16日には西本願寺聞法会館において、「若手有志による真宗合同布教大会」が開催されます。これはフェイスブックに登録している僧侶・布教使のやり取りの中から立ち上がった企画です。真宗各派からの出講師が一同に会するこの試みは、現実とフェイスブックが有効に相互作用を果たした例といえるでしょう。

一方でフェイスブックによって意図しない情報が共有され、問題を生じさせた例は上述しました。フェイスブックという媒介によつ

て、私たちのあらゆる側面が接続され共有されつつあるといえるでしょう。これについてザッカーバーグは、次のように述べています。「仕事上の友だちや同僚と、それ以外の知り合いとで異なるイメージを見せる時代は、もうすぐ終わる。」「現代社会の透明性は、ひとりがふたつのアイデンティティを持つことを許さない。」(カートパトリック290頁)

つまり、フェイスブックの参加者のみならず非参加者も、隠し立てすることのできない統合されたアイデンティティを抱える時代が到来しつつあるといえます。

宗教者がフェイスブックに いかに向き合うのか

では宗教者はこのフェイスブック時代にどのように向き合うべきでしょうか。ここでは短期的視点と、長期的視点の二つから検討してみます。

アエラでは企業および役所のフェイスブックなどSNS利用に対する、従業員の私的利用ガイドラインや制限についてアンケートを行っています。(アエラ2012年3月12日 18頁)この

調査からは、従業員のSNS利用は制限しない代わりに、社名等を掲載することについては報告・申請が必要な企業もあり、個人的な情報発信が会社としての公式見解となることを避けた意図が見えます。

宗教者の利用においても同様の配慮が必要となってくるでしょう。現在フェイスブックには非常に多くの浄土真宗関係者が参加しています。僧侶であることを明記しないプロフィールも多く見られますが、日常的な記述や友人関係、さらに実名によってそのアイデンティティは容易に把握できます。

さらにそのアイデンティティには、僧侶としての側面だけではなく、家庭生活や趣味の側面なども接続され共有されています。短期的にはこうした統合的アイデンティティの出現過程を十分に把握し、それを制御する必要があるでしょう。日常的な記述や「いいね」ボタンによる情報の共有などが、自分のみならず友人や知人の現実のアイデンティティに常に帰属することを理解しておく必要があります。

他方こうした情報のコントロールは小手先の短期的なものでしかありません。ザッカーバーグが述べたように、インターネットは社会を包み込む透明性を加速させています。その結果として、情報はコントロールすることによる権威は崩壊します。日常をあげすけに公開される中での、宗教や僧侶の位置づけを新たに模索していく必要があるでしょう。

& 活動情報



現代における葬儀事情

【広報伝道】 2月22日「僧侶研修会」が教堂にて開催された。

教区では、僧侶研修会(広報伝道部主催)を開催し、教区内僧侶86名が参加。講師は葬送ジャーナリストの碑文谷創師に依頼し、「生と死の現在」と題して講演いただいた。

現代における葬儀事情について



資料を踏まえながら考察し、直葬や家族葬、葬儀不要説などが問題とされる中、「民衆の中で、人の生死に関わりを持ち、いのちの喪失の悲しさ、厳しさ、辛さを現場に立ち会い共感していくことこそが葬儀の本質」とされ、仏教界に大いに期待を寄せられた。これからの葬儀のあり方、僧侶としてのあり方を問う機縁となった。

デイビッド・カークパトリック 著
滑川海彦・高橋信夫訳『フェイスブック 若き天才の野望―5億人をつなぐソーシャルネット トワークはこう生まれた』日経 B P社

2011年1月17日、田村栄治・小田光康著「SNS まで管理するの」『アエラ』朝 日新聞出版2012年3月12日号

新しい試みを企画しながら

【仏婦】2月26日、仏教婦人会連盟(杉原静子前委員長)では、各組から選出の若婦委員が構成する若婦人専門委員会(代表 井田聖子)企画の「ほほえみ講座」を開催した。

事前委員会では、いかにして多くの若い方にご縁に遇っていただくかを検討し、仏法の聴聞に加え、今回アトラクション「色あそび」を加えた。カラーアナリストの甲斐陽子さん(元若婦専門委員)に「色」の魅力と自分に合った色選びをプロデュースしてもらい、女性ならではの興味を惹いた。

メインの法話は吉崎哲真師(安芸教区佐伯奥組西法寺住職)。「ダーナのころ」と題し、誰にでも出来る七つの布施のお話、またご縁ということについてご法話いただいた。

若婦人の研修会としては、まだまだ若い方や初めてお参りの方が少なく、今後も新しい試みを企画していく。参加者は大人78名、子ども14名。

【布教団】2月27日、部門別基幹運動研修会、総会が行われた。

午前中は、岡山龍谷高校の津田美津子校長を招聘し、現状についての説明があった。

午後は、坂原英見中央相談員(当時)より、新年度よりスタートする体制についての説明があった。

特別布教大会

3月14日、沼隈南組光源寺にて、特別布教大会が開かれた。

出講者は次の通り(敬称略)

- 那須智雄(沼隈西組大東坊)
- 田井智彦(備中里組蓮乗寺)
- 那須英信(沼隈南組善正寺)
- 赤柴宏丞(沼隈西組光満寺)
- 平山智正(深津組光円寺)
- 山下義円(奥組浄福寺)

被害者の方々に思いを寄せて

【教室】3月11日、備後教堂では、3月常例法座に併せ「東日本大震災一周忌法要」を勤修した。

東日本の大震災は、ちょうど一年前のこの日、普段通り常例法座を勤修した直後の出来事だった。参拝者は、仏説阿弥陀経を拝読し、焼香。講師は苅屋光影師(深津組

光行寺)。終日合計で延べ122名の参拝があり、被災者の方々へ思いを寄せるとともに、諸行無常を「我が事」として引き受けていくことの大切さを学んだ。

昼休憩にはボーモリーズ(苅屋光子代表)がコーラスを披露。参拝者と一緒になり仏教讃歌の合唱を行った。

また、各寺院における東日本大震災一周忌法要の勤修を依頼しており、教区内各地で法座に併せ法要が勤修された。



優勝 世羅組チーム

【備龍会】備後教区親善ソフトボール大会

3月29日(木)、第21回親善ソフトボール大会が御調町ソフトボール球場にて開催され、各チーム大人から子どもまでが参加し、熱戦を繰り広げた。



新たな始まりを

【仏婦】4月13日、仏婦連盟(三島当子新委員長)では本年度の総会を開催し、各単位会より総勢303名が参加。昨年度の活動・決算報告及び本年度活動計画・予算の承認を得た。また、役員任期満了に伴い、新しく14名の常任委員が選出され、本年度より新たなスタートを切った。

午後の幹部研修会では、総連盟講師の野村康治師が「大遠忌のご消息をいただいて」と題し、これから仏婦としての活動に期待するお話をされた。大遠忌が終わり、仏婦連盟としても新たな始まりを迎える。



中・四国ブロック少年連盟 指導者研修会

『お寺でサイエンス』

日時 7月4日(水)～5日(木)
会場 アルセ
講師 サイエンス・インストラクター
山縣圭子 先生

門徒推進員のつどい

『御同朋の社会をめざして

～私は何をしたらよいのでしょうか～』

日時 7月6日(金) 午前10時～
会場 備後教堂
講師 備後教区教務所
法正映真 主事



● 教堂玄関の垂幕が新しい
メッセージに替わりました

仏教壮年会夏期研修会

日時 8月26日(日) 午前10時～
会場 比婆組
講師 仏壮連盟活動推進講師
南莊乗宏 先生

17日	15日	13日	13日	11日	11日	11日	10日	8日	7日	6日	1日	1日	2月	30日	30日	28日	27日	26日	26日	23日	20日	19日	18日	18日	13日	11日	7日	1月
勤式練習会	ブロック少年連盟連絡協議会 (16日まで 備後)	(14日まで 津村別院等)	教区会研修旅行	仏婦連盟役員会	仏壮連盟役員会	教区常例法座	僧侶常備会	門徒推進員たより委員会	組長会研修旅行(9日まで)	布教団役員会	同朋三者懇話会(広島)	寺族婦人勉強会	同朋三者懇話会(広島)	連区布教使研修会 (31日まで 安芸)	護持口数調整委員会 (29日まで 本山)	門徒推進員定期研修会	ビハーク研修協議会・役員会	キッズサンガ推進委員会	基推常任委員会	門信徒部会	各専門委員会合同会議	仏婦連盟常任委員会	教区報専門委員会	門徒推進員たより委員会	門徒推進員たより委員会	教区常例法座	宗務始め	宗務始め

予報ーインフォメーション

教区月報 (一～五月)

全国真宗青年のつどい

「絆」ずっとつながっていた これからも

日時 7月28日(土)~29日(日)

会場 丸亀市民会館

講師 ○トークセッション&スペシャルゲスト

釈徹宗、香山リカ、上田紀行、池坊由紀

○スペシャルライブ

ふくい舞、三浦明利



レディオ備後

お坊さんステーション

周波数 FM77.7MHz

時間 月曜~午後6時10分頃

木曜~午後6時10分頃

インターネットでのラジオ視聴方法

■ <http://fm777.co.jp/pc/index.html>

■ 上記ホームページの左上「ウェブラジオ」をクリック

■ 画面切り替わって中央の「映像スタート」をクリック

※ラジオ放送時間をご確認ください。※動画は固定カメラでの映像です。



●お坊さんステーションをPRするためのフライヤー(ハガキサイズ)を作成しました。ご利用下さい。

チケットは組長事務所にて近日発売開始

【創作劇】
親鸞わが心のアジャセ
9月6日(木) 15時30分開演
会場 福山リーデンローズ
S席 4000円
A席 3000円



15日	14日	13日	13日	11日	10日	9日	8日	7日	5日	5日	5日	2日	1日	3月	29日	29日	28日	27日	26日	23日	23日	22日	22日	20日	
教区会	特別布教大会	青年布教使研修会	同朋講座	教堂常例法座	仏青連盟中央研修会	基推全体会	寺婦連盟役員会	連研履修者研修会	勤式練習会	岡山同宗連總會	第4連区布教使研修会	教堂参与幹事会	第4連区教化連絡協議会	参与会総会・聞法会	同朋部会	基推常任委員会	基推常任委員会	部門別・基幹運動研修会	仏婦連盟ほほえみ講座	（24日まで）人吉別院等	寺婦連盟研修旅行	（23日まで）山陰	矯正教化管区支部研修会	僧侶研修会	常備会
	（沼隈南組光源寺）				（11日まで）本山						（6日まで）山陰		（2日まで）山口												

今後の予定

<6月>

- 1日 教区事業推進委員会全体会
- 5日 同宗連総会(広島)
- 7日 寺婦連盟総会・研修会
- 8日 門信徒部会
- 8日 門徒推進員世話人会
- 11日 教堂常例法座
- 12日 広報・伝道部会
- 13日 少年教化アドバイザー養成研修会
(～15日 本山)
- 13日 中四国寺族青年野球大会
(～14日 山陰)
- 15日 教堂責役総代会
- 18日 少年連盟総会(アルセ)
- 18日 勤式練習会
- 20日 布教団総会・研修会
- 21日 夏期布教大会
- 22日 ビハーラ備後総会・公開講座

- 22日 岡山同宗連研修会
- 23日 保育連盟
新任教職員補任式・研修会
- 24日 仏婦連盟 子育てセミナー
(世羅組善行寺)
- 26日 第4連区青年布教使研修会
(～27日 備後)
- 29日 前期勤式研修会

<7月>

- 4日 第4ブロック少年連盟
指導者研修会(～5日 備後)
- 6日 門徒推進員のつどい
- 13日 勤式練習会
- 19日 組長会
- 23日 第4ブロック保育連盟
まことの保育大学講座
(～24日 山陰)
- 28日 全国真宗青年の集い
(～29日 四州)

各法人からの県庁への書類提出期限は7月31日です。

広島県の寺院

〒730-0011 (電話 082-228-2111)

広島市中区基町 10-52 広島県庁内 環境県民局 学事課

岡山県の寺院

〒700-8570 (電話 086-224-2111)

岡山市北区内山下 2-4-6 岡山県庁内 総務部 総務学事課

未提出の場合、10万円以下の過料処罰金が発生します。お忘れなきようご留意下さい。

28日 組長会
27日 同朋部会現地学習会
27日 得度のための勤式講習会
26日 基推常任委員会
26日 教堂責役・総代会
24日 仏婦連盟新旧役員会
23日 仏婦連盟総会

(邑久光明園)

29日 日 24日 日 24日 日 23日 日 14日 日 12日 日 11日 日 9日 日 7日 日 1日 日 5日 月 26日 日 24日 日 23日 日 18日 日 13日 日 11日 日 11日 日 10日 日 9日 日 8日 日 7日 日 6月 6日 6日 5日 日 4月

門徒推進員世話人会
勤式練習会
ビハーラ備後役員会
中四国ブロック仏青連盟
連絡協議会(～8日 四州)
仏婦連盟・研修会
布教団青年布教使の会
保育連盟全体協議会
教堂常例法座
実践運動常任委員会
仏婦連盟総会・幹部研修会
仏婦連盟総会
第4連区ビハーラ連絡協議会
(～19日 本山)
(～24日 安芸)
寺婦連盟若婦人研修会
(沼隈南組西光寺)
教区会
教区報専門委員会
組長会
連区青年布教使研修会
実行小委員会
教堂常例法座
若婦人専門委員会
勤式練習会
寺婦連盟役員会
布教団役員会
教務所長歓迎会
仏婦連盟役員研修会
(～30日 備後教堂)

得度許可

おめでとうございます
ございます

〔敬称略〕

比婆組 正専寺

小田原 秀文(秀徳)

(平成23年11月28日付)

沼隈南組 宝光寺

明石 美那子(美那)

沼隈南組 光源寺

北山 祐誓(祐誓)

三次組 光西寺

長田 真代(真代)

三次組 福泉坊

水戸 竜平(心海)

三次組 福泉坊

水戸 智舟(智舟)

御調束組 正典坊

近安 真(真成)

世羅組 善正寺

葉師寺 美樹(樹晃)

(平成24年3月15日付)

教師授与

おめでとうございます
ございます

〔敬称略〕

鴨川北組 光明寺

吉岡 玲子(玲子)

(平成23年6月29日付)

沼隈西組 善立寺

龍谷 唯(唯心)

芦田組 明浄寺

立神 智弘(智弘)

(平成24年3月30日)

敬弔

お悔やみ申し
上げます

〔敬称略〕

深津組 法真寺

衆徒 上垣内 章雄

(12月24日寂)

世羅組 法泉坊

前坊守 毛利 成子

(1月18日寂)

芦田組 長泉寺

坊守 内田 洋見

(2月2日寂)

鴨川北組 宝泉寺

前坊守 佐藤 ハルヨ

(2月27日寂)

中組 西明寺

前坊守 実相 一子

(4月24日寂)



香典返礼

ありがとうございます
ございます

〔敬称略〕

世羅組 法泉坊(2月2日)

鴨川北組 宝泉寺(3月7日)

教堂常例法座出講者

(敬称略)

6月 田井智彦

(備中里組蓮乗寺)

7月 山本耕嗣

(沼隈南組善行寺)

●人事について



村上恒河 賛事

このたび、4月1日付で本山より異動してまいりました比婆組徳了寺の村上恒河です。生まれ育った庄原市東城町からも近く、馴染みある言葉にかこまれ故郷に帰ったようです。よろしくお願い

いたします。



藤田徹信 勤式指導員

この度勤式指導員を引き継ぎました御調西組光徳寺の藤田徹信です。

勤式は声(お勤め)、姿(作法)、形(お莊嚴)に仏徳讃嘆を表し、仏法聴聞の空間を生むと共に同信のよろこびを育む大切な役割を担っていると思います。しかし、日常の法務では「馴れ」も手伝い、その役割が十分でないようにも感じています。先ずは「出来ている、知っている」という所を再度確認し、実践の場で力となる勤式を目指して取り組んで参ります。皆様にも勤式(お勤め、作法、お莊嚴、故実等)に関心を寄せて頂き、研修会、練習会へお運び下さいますよう宜しくお願い致します。



好評の「ぬりえ」第3弾は、平成24年3月末をもって応募が終了し、3期にわたり36寺院から合計390点の応募作品が寄せられた。今回も前回に続き、1歳から大人までバラエティーに富んだ塗り絵が多く寄せられた。「どんなひとになりたいですか?」という質問のコメントには「人をよろこばせる人になりたい」、「心のやさしい人になりたい」など、心の和むコメントが多く、続いて「やきゅうせんしゅになりたい」や「ケーキやさんになりたい」など具体的な夢のあるコメントも多かった。選考は「キッズサンガ推進委員会」の委員によって行われ、頭を悩ませながらも入賞作品を決定した。

「ぬりえをしてお寺にいこう！」 第3弾 入賞作品発表!



教務所長賞 鴨川組 霊巖寺
壹貫田 龍也 (11歳)



優秀賞 鴨川組 福泉寺
石井 美奈 (10歳)



鴨川組 西蓮寺
大庭 東真 (10歳)



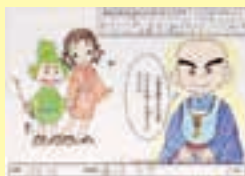
奥組 教蓮寺
山上 なつみ (10歳)

審査員特別賞

委員長賞 奥組 光傳寺
高見 莉奈 (11歳)



世羅組 法泉坊
島崎 息吹 (8歳)



編集後記

6月6日、地球から見て金星が太陽の前を横切る「太陽面通過」ショーが展開された。太陽に金星の黒い影が映り、金星が宇宙に存在することが確認できた▼実際に目視したのは1939年にヨーロッパで初観測されて以来、7回目のこと。次に観測できるのは105年後だという。今回この天体ショーを見た人はおそらく誰一人として次の「ご縁」にあえる人はいないだろう▼次のご縁といえば親鸞聖人750回大遠忌のご縁。50代以上、いや40代以上でも次の800回忌のご縁にあえる人は少ないかもわからない。金星は天体ショーを終え、目に見えなくなったが、金星はこの宇宙に必ず存在している▼750回大遠忌という目と身体と行動で感じることでできたご縁は終わったが、親鸞聖人が伝えて下さった「お念仏」「お浄土」「ご本願」「ご往生」は見えなくても確かなにはたき続けている。そんなご縁を大切にしていきたいものです(F)